

令和元年 7月 3日

原子力施設立地・隣接道府県
原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 様

令和元年度第三回「原子力災害医療中核人材研修（長崎大学）」について

日頃より高度被ばく医療支援センター業務にご協力いただきありがとうございます。

原子力規制委員会から高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、量子科学技術研究開発機構、広島大学、長崎大学の5機関は、一昨年度から分担して「原子力災害医療中核人材研修」を開催しておりますが、今年度も添付スケジュールにて開催いたします。

本研修は、原子力災害拠点病院の指定要件の一つとして求められる「原子力災害に対する中核人材」を育成するための研修で、今年度は5回実施する予定です。

医師・看護師・診療放射線技師が対象になっており、原発立地・隣接24道府県の原子力災害拠点（候補）病院を中心に募集を行います。その詳細につきましてはそれぞれの機関より案内・募集要項が別途発行されますので、それに基づいて、お申込みいただきますようお願いいたします。

今回は、長崎大学が担当する第3回（10月28日（月）～10月30日（水））のご案内です。貴機関より、本研修受講対象者をご推薦くださるようお願いいたします。

本研修は原子力災害拠点病院の施設要件として受講が要求される研修の一つとして位置付けられております。同様の研修としては、過去の量子科学技術研究開発機構の「NIRS被ばく医療セミナー」若しくはこれと同等と認められる研修が対象となりますので、ご了解頂きますようお願いいたします。

長崎大学 高度被ばく医療支援センター

添付 令和元年度「原子力災害医療中核人材研修」開催スケジュール

	実施日	主催/お問合せ先	定員
第一回	6月19日(水)~21日(金)	量子科学技術研究開発機構 基幹高度被ばく医療支援センター事務局 〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1 TEL:043 (206) 4607 (開催場所: 千葉市)	20名
第二回	7月31日(水)~8月2日(金)	福島県立医科大学 高度被ばく医療支援センター (災害医療部内) 〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地 TEL:024 (547) 1541 (開催場所: 福島市)	20名
第三回	10月28日(月)~30日(水)	長崎大学 高度被ばく医療支援センター事務局 (原子力災害対策戦略本部内) 〒852-8501 長崎県長崎市坂本 1-7-1 TEL:095-819-8536 (開催場所: 長崎市)	20名
第四回	11月20日(水)~22日(金)	弘前大学 高度被ばく医療支援センター 〒036-8564 青森県弘前市本町 66-1 TEL:0172 (39) 5474 (開催場所: 弘前市)	20名
第五回	12月9日(月)~11日(水)	広島大学 緊急被ばく医療推進センター (高度被ばく医療支援センター) 〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3 TEL:082 (257) 5398 (開催場所: 広島市)	20名

国立大学法人長崎大学
令和元年度原子力施設等防災対策等委託費事業
令和元年度 第三回「原子力災害医療中核人材研修」募集要項

本研修は、原子力規制委員会から基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、量子科学技術研究開発機構、広島大学、長崎大学の5機関が、原子力規制庁の令和元年度原子力施設等防災対策等委託費事業として実施するもので、年間5回開催される予定です。

本募集要項は、長崎大学が主催する第三回についてのご案内となります。

1 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることになっており、24時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬送を行うことが可能な体制が求められています。本研修は原子炉施設等が立地する道府県等において、原子力災害が起きた際にも医療拠点となる病院として機能できる様に、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える中核人材等の養成を目的とする専門的な教育研修です。

※「原子力災害拠点病院」の施設要件については、「原子力災害拠点病院等の施設要件」(平成30年7月 原子力規制庁)を参照してください。

2 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院の医師、看護師、診療放射線技師等

3 募集人員及び研修期間

募集人員 20名

研修期間 第三回：2019年10月28日(月)～10月30日(水) 3日間

4 実施場所

〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号

国立大学法人 長崎大学 坂本キャンパス

交通 JR長崎駅よりバス約20分

※所要時間は時間帯・道路状況により異なります。

5 研修科目

別記 時間表(案)のとおり

到達目標

- 現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れることができる
- 原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなることができる
- 被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる

カリキュラムの特徴

- 複合災害、大規模災害等による原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定
- 想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習
- 実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習

6 受講料

無料

※本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため、原子力規制庁からの委託事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材等養成のための教育研修と位置づけられています。

7 交通費・宿泊費について

本学の旅費規定に従い、交通費及び宿泊費を支給致します。
支給詳細については決定後お知らせいたします。

8 申込受付期間

第三回：2019年7月3日（水）～8月9日（金）

9 申込要領

- (1) 申込書の電子媒体（MS Excel）は、以下 URL よりダウンロードいただくか、メールの件名に「中核人材研修申込書希望」とご入力の上、問い合わせ先のメールアドレス宛にご連絡ください。

【募集書類ダウンロード】

https://nudrive.nagasaki-u.ac.jp/public/7AhkAAcAYsAAeCUB1s1rxN2wWqsFyL_dZ0p-Rd-ylGPz

パスワード「nagasaki」



こちらの QR コードからアクセスできます ⇒

- (2) 本研修の受講には所属長の承認が必要です。申込書の所定の欄にご記入下さい。

- (3) 複数名応募される中で推薦順位がある場合は、受講理由欄へ「推薦順位〇位」を記入して下さい。
※まとめて応募する場合でも1人1部の申込書が必要となります。

- (4) 申込書を以下 URL へアップロード下さい。

【アップロード先】

https://nudrive.nagasaki-u.ac.jp/public/AAwIAA-AsIAA7FYB_ntrFoisQ1G73gW1DRjBFEDjWfPj



こちらの QR コードからアクセスできます ⇒

【注意書き】ファイル名に「所属病院・氏名」をご記載ください。
エクセルのままアップロードください。

申込締切日 第三回：2019年8月9日（金）

ご使用のネット環境によりセキュリティーの関係等でアップロードが出来ない場合、問い合わせ先のメールアドレス宛に送付の上、申請下さい。

10 受講決定通知

- (1) 研修開始日の1カ月前までに所属長及び本人宛に結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講人数を調整させていただくことがあります（受講決定は、先着順ではありません）。なお、研修開始日の1カ月前を経過後も通知文が届かない場合は問い合わせ先までご連絡下さい。
- (2) 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を同封します。
- (3) 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は受講決定を取り消す場合があります。
- (4) 受講決定後の参加申込みの取り消しは、原則として認めませんが、やむを得ない事情による場合には「辞退届」の提出が必須となります。

11 問い合わせ先

〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号
長崎大学 原子力災害対策戦略本部
電話番号 095-819-8536
E-mail ner@ml.nagasaki-u.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号等の個人情報は、本学の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁及び他の高度被ばく医療支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

令和元年度 第三回 原子力災害医療中核人材研修 時間表(案)

期間：令和元年10月28日（月）～10月30日（水）

実施：長崎大学 原子力災害対策戦略本部 高度被ばく医療支援センター

場所：長崎大学

1日目 10月28日（月）						
時間			形式		講義タイトル	
9:00	～	9:10	0:10	-	-	開講式 ガイダンス
9:10	～	9:50	0:40	講義	-	日本の原子力災害医療制度
9:50	～	10:30	0:40	講義	1-1	原子力災害医療とは？ (原子力災害拠点病院で働く医療従事者のための研修)
10:30	～	10:40	0:10			休憩
10:40	～	11:40	1:00	講義	1-2-1	医療者に必要な、放射線の基礎 I (単位、物理学的性質)
					1-2-2	医療者に必要な、放射線の基礎 II (生物影響)
11:40	～	12:30	0:50			昼食
12:30	～	12:45	0:15			移動 (歯学部⇒RI施設)
12:45	～	13:45	1:00	講義	1-3	外部被ばくと内部被ばくと線量評価 (住民、対応者の線量評価、体内動態)
13:45	～	13:55	0:10			休憩・移動
13:55	～	16:35	2:40	実習	1-4	被ばく患者診療に必要な体表面汚染の計測実習 (一部デモ)
16:35	～	17:20	0:45	実習	1-5	実習：線量評価/WBC見学
2日目 10月29日（火）						
9:00	～	9:50	0:50	講義	2-1	放射線事故事例
9:50	～	10:40	0:50	講義	2-2	救護所、避難所などの住民に対する病院外での 医療対応 (福島事故における問題とその対応)
10:40	～	10:50	0:10			休憩
10:50	～	11:40	0:50	講義	2-3	病院における初期対応 (汚染、被ばく、複合)
11:40	～	12:40	1:00			昼食
12:40	～	12:50	0:10	-	-	汚染への対応 (オリエンテーション)
12:50	～	16:30	3:40	実習	2-4	汚染への対応 (放射線管理・除染・防護着脱)
3日目 10月30日（水）						
9:00	～	11:50	2:50	演習	3-1	机上演習
11:50	～	12:50	1:00			昼食
12:50	～	13:40	0:50	講義	3-2	放射線事故時のメンタルヘルス
13:40	～	14:00	0:20	-	-	ポストテスト
14:00	～	14:45	0:45	討論	-	総合討論 (質疑応答含む)
14:45	～	14:55	0:10	-	-	修了式